



本年度、第3回目となるまちなかワークショップは、「大橋家の歴史と大橋家住宅」をテーマとして、大橋家9代目当主の大橋様を講師にお招きします。大橋家の歴史についてのお話や倉敷町屋の典型を示す代表的な建物であり、かつ、「国の重要文化財」である大橋家住宅についてお話をさせていただきます。普段では見られない大橋家の内蔵や大橋家に伝わる本物の日本刀なども見ることができます。皆様のご参加、お待ちしております。

まちなかワークショップ

●テーマ『倉敷まちなか文書～大橋家の歴史と大橋家住宅～』

●ガイド 大橋 紀寛 氏 (大橋家9代目当主)

大橋家は倉敷町屋の典型を示す代表的な建物で「国の重要文化財」です。

先祖は豊臣氏に仕えた武士で、大坂落城の後この倉敷に移り住み、水田や塩田開発、金融業で大きな財を成しました。

当時では許されなかった長屋の中程に設けた長屋門や、なまこ壁・倉敷窓・倉敷格子など倉敷の豪商らしい風情が残っており座敷に上がってゆっくりと往時を偲んでいただけます。

プログラム

13:50 受付(大橋家住宅)

14:00 まちなかワークショップ

15:00 閉会



平成29年

日時

10月21日(土) 14:00～15:00 (受付13:50～)

【参加費無料 / 定員10名まで】

場所

大橋家住宅

〒710-0055 岡山県倉敷市 阿知3-21-31

※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

お問合せ

まちなか研究室東町 まちなかワークショップ担当 山口

TEL:086-486-5221

メールアドレス:kurashiki.ws@gmail.com



文部科学省 地(知)の拠点

倉敷芸術科学大学 KURASHIKI UNIVERSITY OF SCIENCE AND THE ARTS